

報道機関各位

青森県農林水産部構造政策課長
(公 印 省 略)

第50回東北農村青年会議青森大会の開催について

この度、東北地域の農業青年が一堂に会し、経営のレベルアップや東北農業の発展を図るため、第50回東北農村青年会議青森大会を開催します。

本大会は、毎年、東北各県が持ち回りで開催しているもので、今年度は6年に1度となる本県での開催であり、運営は、青森県4Hクラブ連絡協議会を中心とした実行委員会が行うこととしています。

つきましては、下記のとおり開催しますので、取材して下さるようお願いいたします。

記

- 1 日時：令和元年9月12日（木）13:00～13日（金）12:15
- 2 場所：青森ワイナリーホテル
(南津軽郡大鰐町大字島田字滝ノ沢100-9、TEL：0172-48-2881)
- 3 内容（詳細は別添のとおり）

1日目：9月12日（木）	2日目：9月13日（金）
①プロジェクト発表及び意見発表 ②情報提供（出展企業紹介） ③情報交換会	①事例紹介・ワークショップ ②表彰・閉会式

4 添付資料

- (1) 資料1：第50回東北農村青年会議青森大会の概要
- (2) 資料2：プロジェクト・意見発表の概要
- (3) 資料3：事例紹介・ワークショップの概要



報道機関用提供資料	
担当課	構造政策課 担い手育成グループ
担当者	総括主幹 長内 秀揮
電話番号	直通 734-9463
	内線 5057
報道監	農林水産部 次長 山田 泉
	内線 4967

第 50 回東北農村青年会議青森大会の概要

大会テーマ Take a look at myself

～んだはンで あんかねまって はなしこすべ～

1 目的

東北地域の農業青年が一堂に会し、日頃の農業経営や農村生活で得た知識、技術及びプロジェクト活動の成果を相互に交換し、東北農業の意欲ある担い手として経営のレベルアップを図るとともに、次世代の青年農業者の確保・育成について考え、将来の東北農業の発展を目指す。

2 主催

東北農業青年クラブ連絡協議会、青森県 4 H クラブ連絡協議会、青森県

3 後援

東北農政局、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、大鰐町、全国農業青年クラブ連絡協議会、公益社団法人大日本農会、公益社団法人あおもり農林業支援センター、一般社団法人青森県農業会議、青森県農業協同組合中央会、青森県農業経営士会、青森県青年農業士会、青森県 ViC・ウーマンの会

4 運営

第 50 回東北農村青年会議青森大会実行委員会

5 開催月日

令和元年 9 月 12 日（木）～13 日（金）

6 開催場所

青森ワイナリーホテル

〒038-0223 青森県南津軽郡大鰐町大字島田字滝ノ沢 100-9、TEL：0172-48-2881

7 参加者

182 名（R1.8.30 現在）

	開会式	発表会	情報交換会	宿泊	ワークショップ
来賓	9	3	3	3	3
農業青年	92	92	69	65	62
営大生	6	6	6	6	6
高校生	26	26	0	0	0
関係機関	49	45	37	36	36
出展企業	—	—	5	2	2
計	182	172	120	112	109

8 開催日程

【1日目】令和元年9月12日（木）

時 間	開催内容	場 所
13:00 ～ 13:30	開会式 1 開会のことば 東北農業青年クラブ連絡協議会 副会長 横沢 賢一郎 2 主催者挨拶 東北農業青年クラブ連絡協議会 会 長 木村 将瑛 3 歓迎のことば 青森県副知事 青山 祐治 4 来賓祝辞 東北農政局経営支援課長 大井 宗浩 大鰐町長 山田 年伸 5 4Hクラブ綱領斉唱・歌斉唱 東北農村青年会議実行委員会 奈良岡 拓志 6 閉会のことば 東北農業青年クラブ連絡協議会 副会長 横沢 賢一郎	ルビーホール
13:30 ～ 15:00	プロジェクト発表（6課題）	
15:15 ～ 16:05	意見発表（6課題）	
16:15 ～ 17:15	情報提供（9社） 【内容】 当大会に出展している企業から、農業青年の経営向上に資する情報提供をいただく。	
19:00 ～ 21:00	情報交換会	

【2日目】令和元年9月13日（金）

時 間	開催内容	場 所
9:00 ～ 9:50	<p>事例紹介</p> <p>【テーマ】 「あなたの分岐点は？」</p> <p>【講師】 株式会社アグリーンハート 代表取締役 佐藤拓郎 氏 全国農業青年クラブ連絡協議会会長 首藤 元嘉 氏 アルファーム代表 会津 宏樹 氏</p> <p>【司会】 東北農村青年会議青森大会 実行委員長 工藤 秀平 氏</p> <p>【内容】 特徴的な経営を行う先進農家から、現在の経営に至るまでの経営改善、挑戦したこと等について紹介いただく。</p>	ルビー ホール
10:00 ～ 11:30	<p>ワークショップ</p> <p>【テーマ】「明日から何する？ ～5年後・10年後を見据えて～」</p> <p>【内容】 自身の農業経営を見直し、明日から取り組める経営改善策について、参加者全員で議論する。</p>	
11:45 ～ 12:15	表彰・閉会式	
12:15	解散	

プロジェクト・意見発表の概要

1 発表者一覧

(1) プロジェクト発表

順序	県名	発表者	所 属	発表課題
クジにより当日決定	青森	乙部 暁	上十地区4Hクラブ 連絡協議会	マルチの種類がながいもの生育に 及ぼす効果
	岩手	及川 愛	からふるらいん	農業に彩りを
	宮城	結城 翔平	大崎4Hクラブ	ねぎ農家の働き方改革
	秋田	鈴木 知行	横手市農業近代化 ゼミナール	農家のSNS活用 ～歌うミニトマト農家は こうして使ってます～
	山形	武田 海	神町果樹研究会	MISSION IMPOSSIBLE! ～さくらんぼ雨除け作業の省力化～
	福島	橋本 宏幸	D”ATCH	きゅうり栽培拡大に向けて ～点滴灌水導入で効率化！～

※発表時間 10分/人（質疑応答含め、最大15分）

(2) 意見発表

順序	県名	発表者	所 属	発表課題
クジにより当日決定	青森	高橋 佑弥	つがる農村青少年 クラブ	メロン、すいかの苗づくりにかける 思い
	岩手	淵澤 拓也	花巻市農業青年クラブ 連絡協議会	経営を継承し変化を加えていくこと
	宮城	笠原 怜	大崎4Hクラブ	嫌いだった養鶏
	秋田	細井 慎之介	仙北地区農業近代化 ゼミナール	細井、農業やめます。
	山形	土田 伸平	酒田アグラー	農業と家庭の両立 ～イクメン農家の楽しい子育て～
	福島	芳賀 正道	いわき農業青年クラブ 連絡協議会	「理想のワイン造りをめざして」

※発表時間 7分/人（質疑応答なし）

2 審査員一覧

氏名	所属・職名
栗林 豊	青森県農林水産部構造政策課 課長代理 (審査委員長)
大井 宗浩	東北農政局経営・事業支援部 経営支援課 課長
葛巻 美知子	岩手県農林水産部農業普及技術課 上席農業普及員
舟山 和宏	宮城県農政部農業振興課 技師
繁野 毅	秋田県農林水産部農林政策課 副主幹
會田 孝裕	山形県村山総合支庁産業経済部北村山農業技術普及課 主任専門普及指導員
齋藤 ちひろ	福島県農林水産部農業担い手課

3 その他

(1) 表彰及び全国大会への派遣

- ・最優秀賞（第1席）、優秀賞（第2席）を選定し、授与する。
- ・受賞者のうち、プロジェクト発表の最優秀賞及び優秀賞、意見発表の最優秀賞受賞者は、翌年2月の第59回全国農業青年会議（全国大会）へ東北代表として出場。

(2) プロジェクト活動とは

興味があり関心の高い日常の農業経営や農村生活における問題を発見し、その問題を解決するための目標を定め、問題解決について計画し、自己責任において合理的に実施し、これをとおして農業改良や生活改善に関する知識と技術を身につける実践的学習活動のこと。

(3) 意見発表とは

就農準備期から就農定着期にかけて経験した様々な出来事や農業に対する思いなどをまとめ、若い農業者の仲間へ語りかけるもの。

(4) 4Hクラブ綱領

私たちは実践を通じて自らを磨くとともに、互いに力を合わせて、よりよい農村、よりよい日本を創るため、四つの信条をかかげます。

- 一、私達は、農業の改良と生活の改善に役立つ腕 (hands) をみがきます
- 一、私達は、科学的にものを考えることのできる頭(head)の訓練をします
- 一、私達は、誠実で友情に富む心(heart)をつちかいます
- 一、私達は、楽しく暮らし、元気で働くための健康(health)を増進します

事例紹介・ワークショップの概要

1 事例紹介（トークセッション形式）

（1）目的

大会テーマの「Take a look at myself～んだはンで あんかねまって はなしこすべ」は、「自身（の経営）を振り返ろう。だから、少し座って話しませんか？」という意味である。

これにちなみ、本大会では、参加者全員で自身の農業経営を見直し、明日から取り組める経営改善策について議論するため、特徴的な経営を行う先進農家の事例紹介と、それを呼び水としたワークショップを行うこととする。

（2）事例紹介テーマ

「あなたの分岐点（ターニングポイント）は？」

【概要】

事例紹介者が、現在の農業経営に至るまでに取り組んできた、様々な経営改善や挑戦について、トークセッション形式で御紹介いただく。

（3）事例紹介者（大会資料より抜粋）



佐藤 拓郎 氏

株式会社アグリーンハート 代表取締役

株式会社ビオ・フローズン 代表取締役

青森県黒石市に6代目の農家として生まれる。

高校卒業後、就農。2017年にそれまで複合経営だった父の経営体から水稻部門を法人化し、株式会社アグリーンハートを設立。学生時代から続けている音楽活動の延長で現在もシンガーソングライターの他、黒石市観光大使、青森県学校教育サポーター、テレビリポーターなど多方面で活動中の異色の農家。

57haの水稻経営では、スマート農業を導入した低コスト生産と、休耕地を自然栽培で転換する高付加価値生産の2つのビジネスモデルを実践。

GLOBAL G.A.P 認証、有機 JAS 認証、農福連携、自然栽培、と安心安全を軸に消費者に信頼される生産と販売方法を構築中。

2019年には新たにオーガニック野菜専門の加工会社「ビオ・フローズン」を立ち上げるなど、常に時代に合わせた経営形態の進化が必要と考えている。



首藤 元嘉 氏

全国農業青年クラブ連絡協議会会長

愛媛県西条市で全圃場自然栽培にて主穀（水稻・大豆）中心に生産し、自社農産物を加工・販売している農業法人（株）維里 代表取締役。

自社ブランドは「土と暮らす」として展開。ワークショップや農業体験を通じた消費者交流や企業 CSR の受け入れも積極的に行なっている。

事業ドメインを環境保全と設定し、ミッションは「農業を通じて、食と暮らしをととのえる」こと。子どもたちに豊かな地域の未来を残すべく活動している。



会津 宏樹 氏

アルファーム代表
モツハウス家主

青森県板柳町でりんごを 2.4ha 経営。

食べてくれた人が健康で笑顔になるりんご創り、オンリーワンでナンバーワンのりんご創りを目指す。

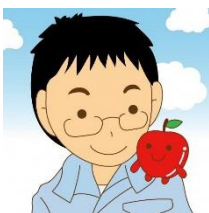
祖父からバトンタッチで 70a の小なりんご園から母と 2 人でスタートして 13 年目。

7 年前に農家仲間から出資を募り、母の冬の仕事として干しりんごの生産もスタートさせる。

全国農業青年クラブ連絡協議会 63 代目会長として、未来投資を掲げ、学生と農業者を繋げる活動をし、今も尚ファームステイの受け入れなどに力を入れている。

座右の銘は、「下足番を任されたら日本一の下足番になってみる、そうすれば誰もお前を下足番などにはしておかぬ」。

（2）司会



工藤 秀平（第 50 回東北農村青年会議青森大会実行委員長）

株式会社アップルギフトーズ 代表取締役
工藤農園 園主

2 ワークショップ

(1) 目的

農業経営の中で日頃、「行っている仕事」や「できていない仕事」を4分割マトリクス表を活用して分類し、自身の農業経営を見直すとともに、経営発展に結びつけるための改善策を見つけるためのワークショップを行う。

(2) 内容（大会資料より抜粋）

そろそろ将来のこと考える？

考えてるけど何すればいいのかな？

明日から何する？

～5年後10年後を見据えて～

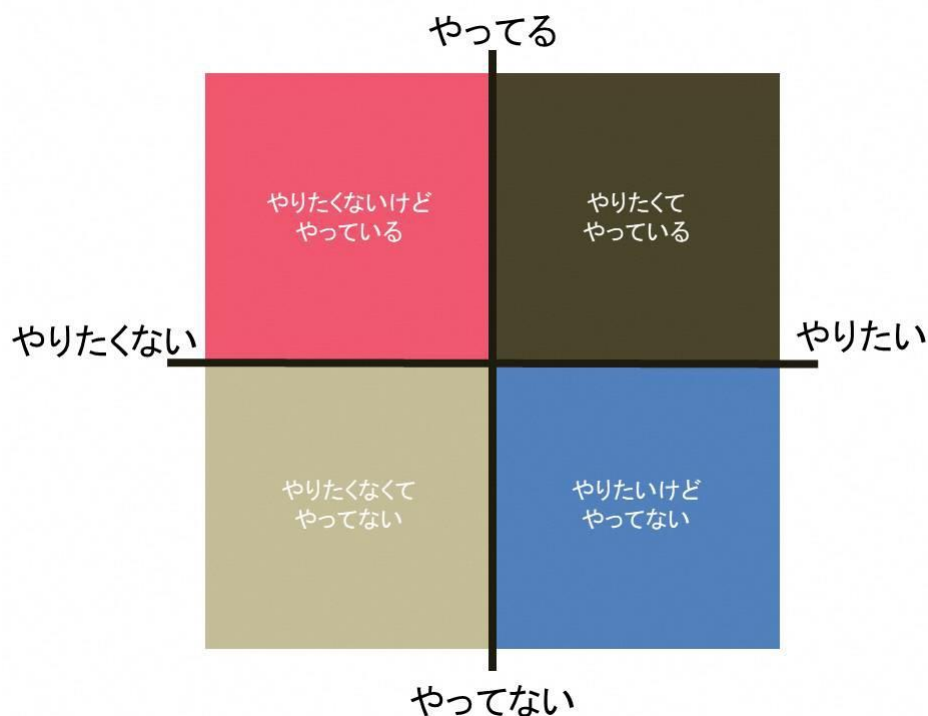
皆さん、将来について考えていますか？

最近の流行では、「直売をやりたい」「加工品を作りたい」など考えたことがあるのではないのでしょうか？「農地を増やしたい」「ハウスを増やしたい」と事業の拡大を考えている人も、逆に農地がありすぎて減らしたいと思っている人もいるかもしれません。

しかし、これらを実現しようとするにはなかなか勇気が必要ですよね。やりたいと思っても初めに何をすればいいかわからない人もいますでしょう。

今日はそんな人たちの悩みを共有して、解決する方法を考える時間を作りました。

「やりたいこと」と「やりたくないこと」を整理して、自分が本当にやりたいことに取り組めるようどうしたらいいか考えましょう。



ワークショッププログラム

時間	内容	備考
10分	<p><あいさつ・自己紹介></p> <p>司会からワークショップ進行方法の説明。 氏名、出身地、作目など簡単な自己紹介。 お互いを知ろう！</p>	
10分	<p><書き出し></p> <p>やりたいこと、やりたくないことを付箋に書き出します。 Ex) 農地を増やしたい、儲かる作目を増やしたい、嫁がほしい etc.</p>	
10分	<p><貼りだし></p> <ul style="list-style-type: none"> ・やりたいことで実際にやれてること ・やりたいことでやれてないこと ・やりたくなくてやってること ・やりたくなくてやらないこと <p>付箋をこの4つに分類してください。 簡単な説明をしながら付箋を模造紙に貼り付けてください。</p>	<p>同じ考えは重ねて貼ってください。</p>
15分	<p><意見交換></p> <p>有意義な意見交換をできるよう遠慮なくお話しください。 共感できると思った付箋に「いいねシール」を貼ってください。</p>	<p><注意事項></p> <p><u>他人の意見を否定しない。</u></p>
15分	<p><明日から何する？></p> <p>5年後10年後を見据えて明日からなにができるか、何をするか考えます。</p>	
5分	<p><テーブル内発表></p> <p>それぞれ自分のプランを発表します。</p>	<p>発表後、模造紙は壁に掲示します。</p>